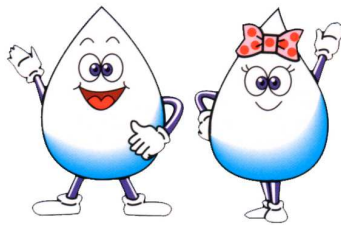


平成 23 年度 決算の概要



平成 24 年 12 月
阪神水道企業団

目 次

I. 概況

II. 業務の実績

III. 収支の状況

IV. 財政計画・予算・決算比較

V. 対前年度決算比較

I. 概況

◆総括

- 『安全な水の安定供給の持続』という基本理念のもと平成23年度は効率的な事業運営を進めるとともに、施設の適切な維持管理に基づき経年劣化した管路・設備機器の更新取替を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めました。さらに、構造物・建築物の耐震化の取り組みとして、猪名川浄水場の耐震補強工事に向けた実施設計に着手しました。
- 多額の累積欠損金を有する厳しい財政状況が続いていますが、保有地の活用による収益確保と支払利息等の経費削減策を着実に実行し、収支改善に取り組みました。その結果、特別利益及び特別損失を除いた経常損益で黒字となりました。
- 将来の水需要の増加が見込めないため、利水者として参画していた丹生ダム建設事業と猪名川総合開発事業から撤退することを決定し、これらに関連する水利権の処分に伴い特別損失を計上しました。

◆水源・水質、給水実績

- 琵琶湖流域の降雨量は、2,175mmで前年比130%となり、琵琶湖水位の平均値は-7cm（最高値56cm、最低値-32cm）で過去5年平均値（-20cm）に比べ高い傾向となりました。
- 水質状況については、7月に琵琶湖の南湖（山田港沖）においてかび臭原因生物（ジェオスミン）が若干検出されたものの、淀川本川ではかび臭原因物質の発生はなく、概ね安定した状況でした。
- 年間給水実績は275,906,840 m³となり、1日最大給水量は841,180 m³、最大稼働率は74.6%となりました。

◆収支の状況

- 収益的収支は4,502,830千円の赤字となり、赤字額は前年度に比べて3,527,452千円増加しました。収入は補助金等の減等により前年度に比べて114,107千円減少し、支出は特別損失の増等により3,413,345千円増加しました。この結果、当年度末の累積欠損金は19,575,907千円に増加しました。
- 資本的収支は7,848,432千円の不足となりましたが、不足額は前年度に比べて259,371千円改善しました。収入は企業債、国庫補助金の減等により1,565,151千円減少し、支出は水道拡張費、企業債償還金の減等により1,824,522千円減少しました。
- 資本的収支不足額については損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では959,720千円の資金剰余となり、当年度末の資金残額は4,762,020千円となりました。

Ⅱ. 業務の実績

◆ 計画給水量と実績給水量

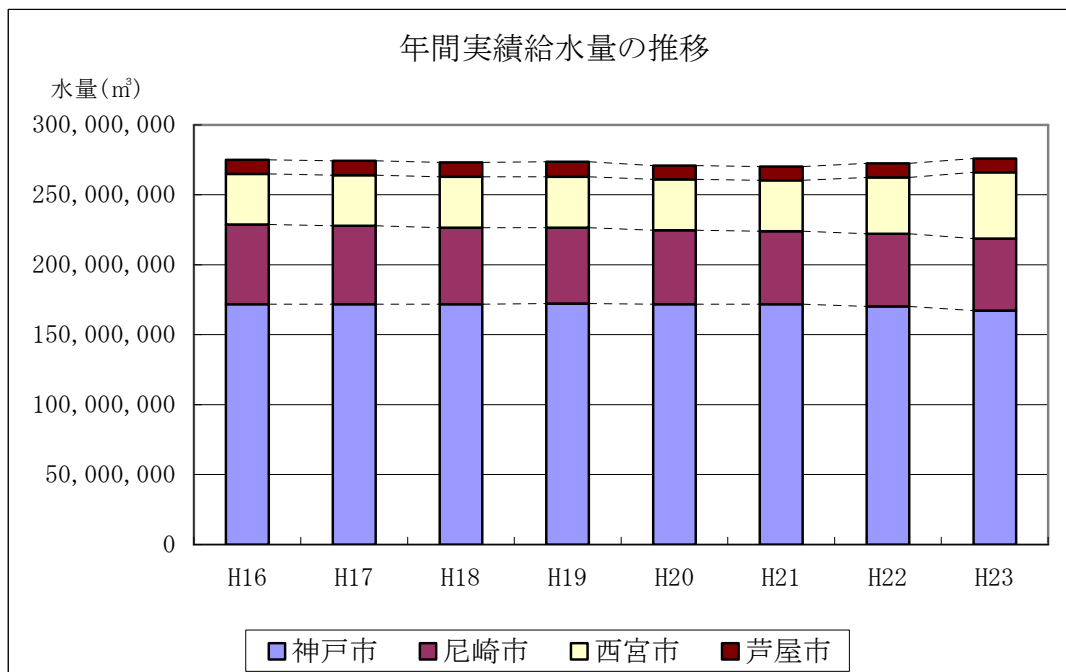
- 実績給水量は 275,906,840 m³で、前年度と比べて 3,455,920 m³増加しました。4市間で配分水量の調整を行った結果、西宮市への給水量が 7,363,740 m³増加しました。
- 計画給水量（分賦基本水量）288,994,332 m³に対する実績率は 95.5%で、前年度に比べて 1.0ポイント改善しました。

○ 年間実績給水量の推移 (H16～)

(単位 m³)

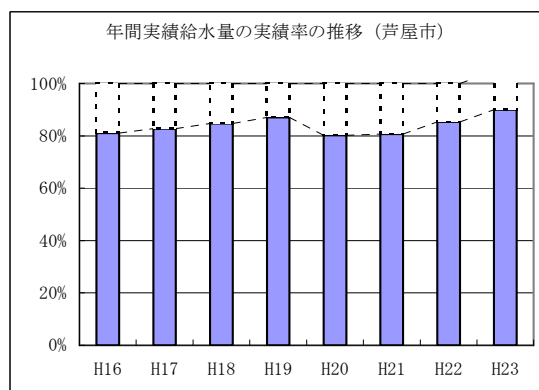
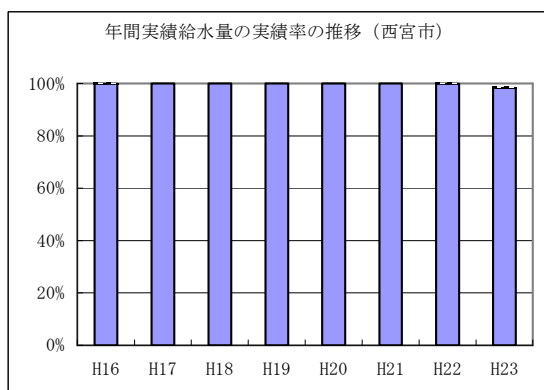
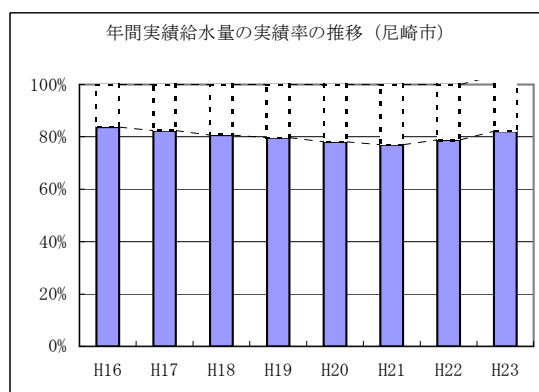
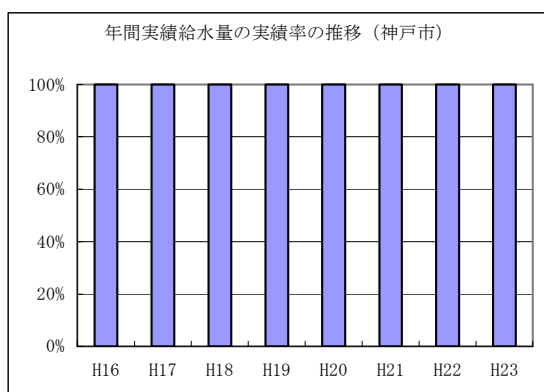
	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	計	
H23分賦基本水量	167,396,322	62,416,542	48,294,798	10,886,670	288,994,332	
年間実績給水量	H16	171,793,390	56,781,500	36,330,550	9,926,230	274,831,670
	H17	171,793,410	55,915,700	36,346,930	10,122,670	274,178,710
	H18	171,793,360	54,701,800	36,343,700	10,367,000	273,205,860
	H19	172,264,080	54,228,000	36,446,300	10,674,180	273,612,560
	H20	171,793,390	52,965,000	36,348,110	9,811,450	270,917,950
	H21	171,793,380	52,252,600	36,353,170	9,878,820	270,277,970
	H22	170,260,370	52,020,800	40,128,050	10,041,700	272,450,920
	H23	167,396,260	51,215,700	47,491,790	9,803,090	275,906,840

※H23は配分水量を調整（対前年比 神戸市△2,864,133m³、尼崎市△3,563,048m³、西宮市+8,106,838m³、芦屋市△890,055m³）



○ 年間実績給水量の実績率（対計画給水量）の推移（H16～）

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	全体
H16	100.0%	83.7%	99.9%	81.1%	95.4%
H17	100.0%	82.4%	100.0%	82.7%	95.1%
H18	100.0%	80.7%	100.0%	84.7%	94.8%
H19	100.0%	79.7%	100.0%	87.0%	94.7%
H20	100.0%	78.1%	100.0%	80.2%	94.0%
H21	100.0%	77.0%	100.0%	80.7%	93.8%
H22	100.0%	78.8%	99.9%	85.3%	94.5%
H23	100.0%	82.1%	98.3%	90.0%	95.5%



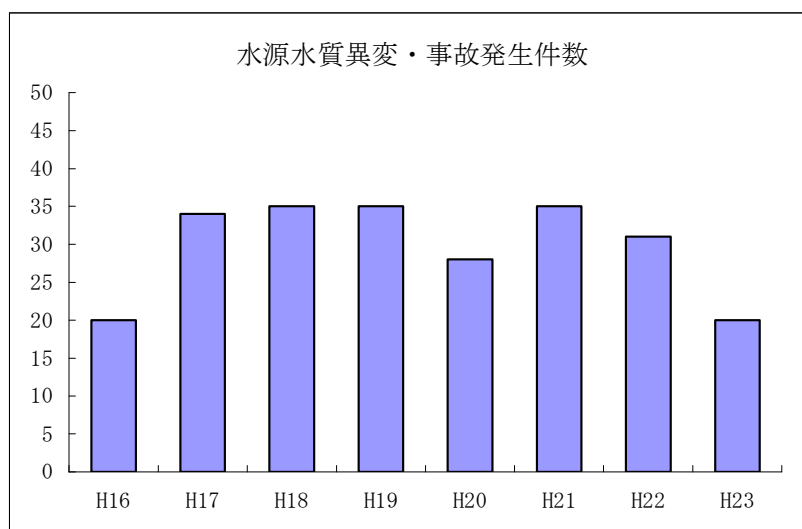
◆水源水質の状況（異変・事故の発生状況等）

- 淀川水質協議会で把握した淀川水系の水源水質異変・事故は 20 件で、その約 50%が油の流下によるものでした。企業団において対応を要した油流下事故は 0 件でした。

○淀川水系における水源水質異変・事故の発生頻度（H16～）

水源・水質事故発生件数

年度	発生件数
H16	20
H17	34
H18	35
H19	35
H20	28
H21	35
H22	31
H23	20



Ⅲ. 収支の状況

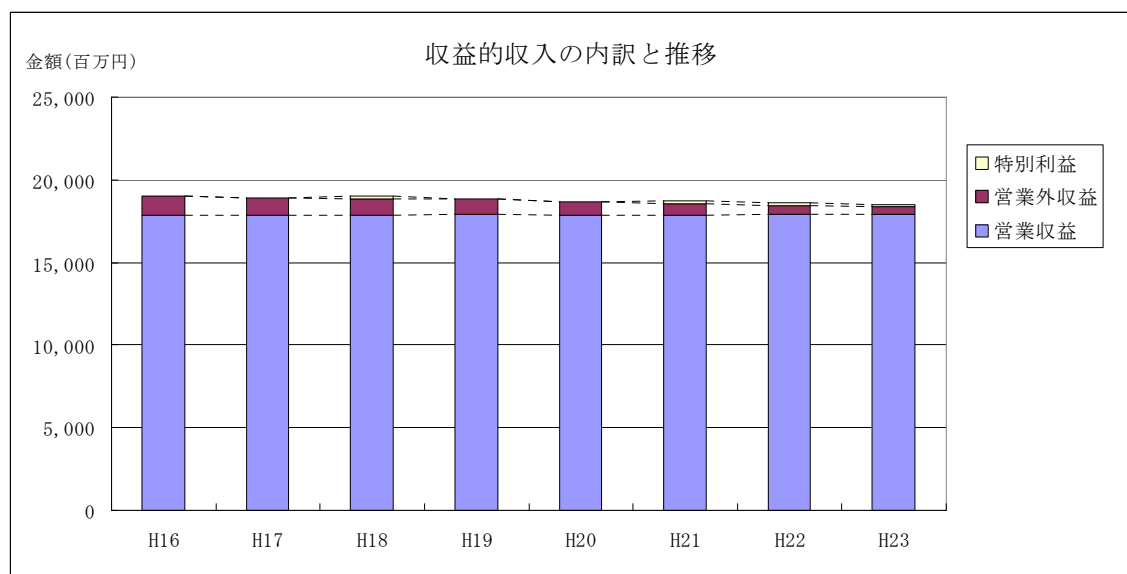
◆収益的収入の状況

- 収益的収入は18,467,918千円で、前年度に比べて114,107千円減少しました。
- 補助金は前年度に比べて97,546千円減少しました。当年度より子ども手当に対する構成市一般会計からの補助金が加わったものの、支払利息に対する補助金の減少が大きく、全体として減額となりました。
- 特別利益は前年度に比べて48,357千円減少しました。公舎跡地の売却益を計上する一方で、過年度損益修正益が減少しました。
[税抜：財政計画比+92,290千円、予算比△26,252千円]

○収益的収入の内訳と推移(H16～) (税抜)

(単位 千円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
1. 水道事業収益	19,030,512	18,921,959	18,984,450	18,848,450	18,664,076	18,723,275	18,582,025	18,467,918
1. 営業収益	17,863,533	17,861,909	17,865,975	17,909,107	17,861,819	17,864,552	17,888,203	17,924,053
1. 分賦金	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089
2. 受託工事収益	0	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323	9,185
3. その他の営業収益	6,368	4,744	5,953	3,018	3,019	2,867	3,715	8,779
2. 営業外収益	1,166,128	1,060,050	987,679	939,343	794,041	656,070	558,780	457,180
1. 受取利息	2,786	3,513	19,577	53,918	37,611	9,949	4,429	3,404
2. 補助金	1,034,229	942,542	843,593	759,751	604,628	489,809	395,822	298,276
3. 雑収益	129,113	113,995	124,509	125,674	151,802	156,312	158,529	155,500
3. 特別利益	851	0	130,796	0	8,216	202,653	135,042	86,685



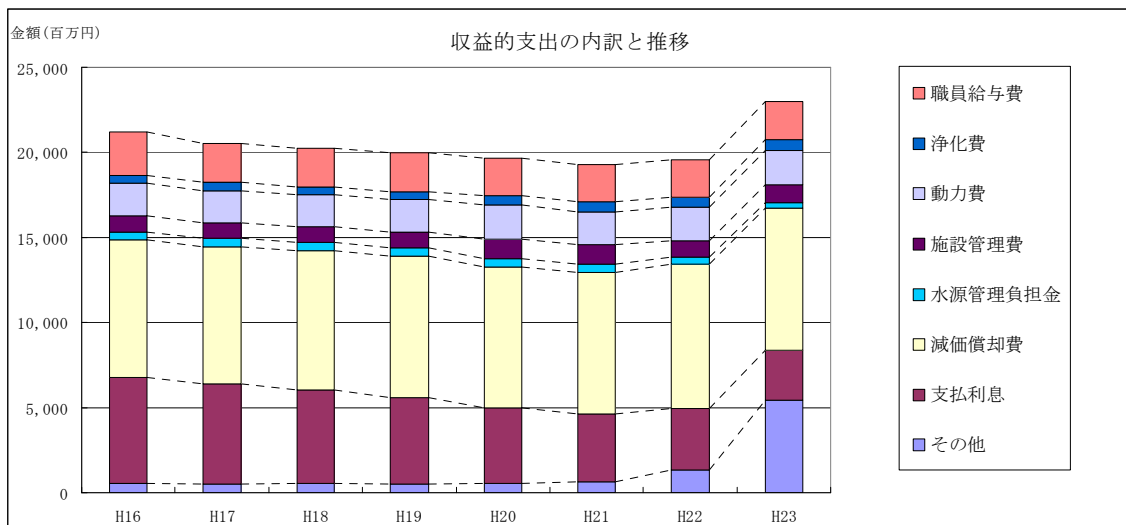
◆収益的支出の状況

- 収益的支出は22,970,748千円で、前年度に比べて3,413,345千円増加しました。
- 高金利企業債及び割賦負担金の繰上償還により支払利息は前年度に比べて大幅に減少しましたが、一方で単価上昇等により浄化費、動力費が増加しました。
- 特別損失は前年度に比べて4,171,626千円増加しました。これは丹生ダム建設事業及び猪名川総合開発事業からの撤退に伴う特別損失を計上したことによるものです。
[税抜：財政計画比+3,295,230千円、予算比△537,375千円]

○収益的支出の内訳と推移 (H16～) (税抜)

(単位 千円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
1. 水道事業費用	21,195,072	20,519,604	20,260,058	19,984,020	19,669,941	19,291,612	19,557,403	22,970,748
1. 営業費用	14,969,763	14,645,378	14,786,036	14,877,516	15,240,134	15,323,984	15,332,756	15,241,573
1. 職員給与費	2,560,589	2,282,124	2,281,625	2,286,073	2,210,372	2,200,643	2,205,398	2,219,575
2. 浄化費	425,837	498,246	475,791	450,036	533,131	589,920	597,727	640,804
3. 動力費	1,947,854	1,879,124	1,858,971	1,916,042	2,045,669	1,934,356	1,924,372	2,021,068
4. 施設管理費	934,756	933,910	944,392	946,667	1,129,926	1,149,204	981,303	1,044,630
5. 委託費	208,281	159,063	134,661	176,505	212,314	211,931	289,293	278,989
6. 受託工事費	0	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323	9,185
7. 物件費	90,640	83,760	86,266	88,793	87,276	87,760	87,341	89,131
8. 諸費	193,962	194,699	195,359	186,725	187,491	175,210	208,286	197,737
9. 水源管理負担金	475,417	486,512	495,236	491,096	495,092	476,735	412,512	322,462
10. 減価償却費	8,071,038	8,055,900	8,168,331	8,303,102	8,289,313	8,344,558	8,496,105	8,347,568
11. 資産減耗費	61,389	72,040	142,547	32,477	47,915	149,147	103,096	70,422
2. 営業外費用	6,224,539	5,874,226	5,474,022	5,104,994	4,429,807	3,967,628	3,617,656	2,950,558
1. 企業債利息	4,354,918	4,140,421	3,896,253	3,673,556	3,196,642	2,970,405	2,844,527	2,337,195
2. 割賦負担金利息	1,868,478	1,733,193	1,574,294	1,430,909	1,230,098	995,953	770,131	611,806
3. 雑支出	1,143	612	3,475	529	3,067	1,270	2,998	1,557
3. 特別損失	770	0	0	1,510	0	0	606,991	4,778,617



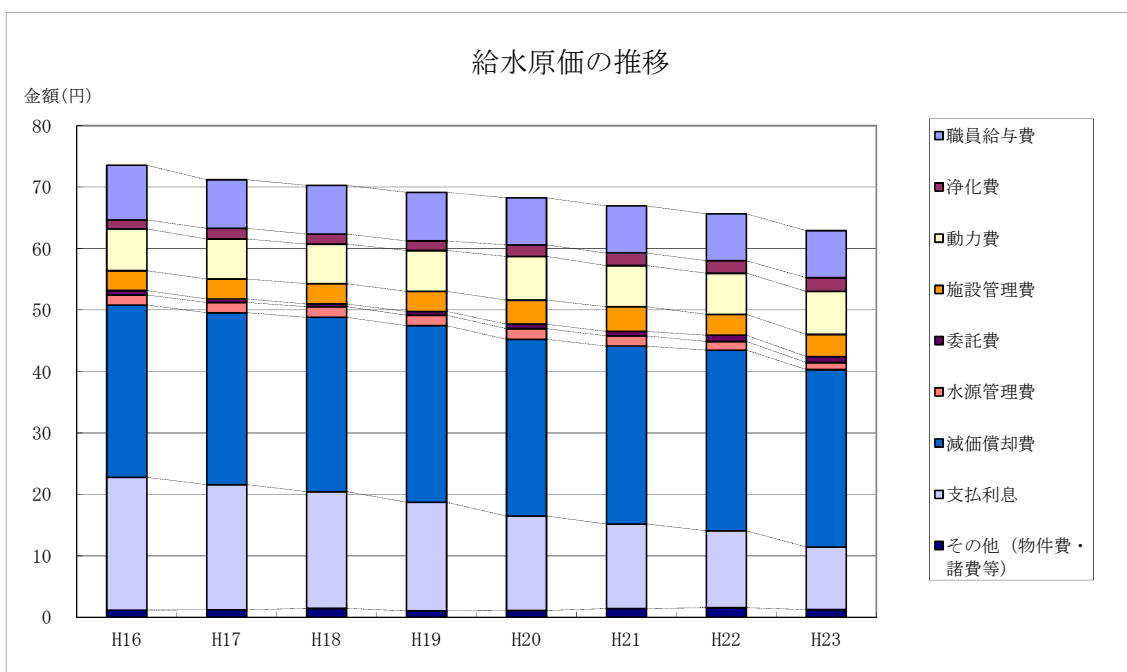
◆給水原価の状況

- 給水原価は62.92円で、前年度に比べて2.74円減少しました。減価償却費、支払利息等は減少しましたが、職員給与費、浄化費、動力費、施設管理費は増加しました。
- 企業債及び割賦負担金の繰上償還の効果により、支払利息は平成16年度に比べて47%の水準まで低下しました。

○給水原価の構成と推移 (H16～)

(単位 円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
職員給与費	8.89	7.92	7.92	7.91	7.67	7.64	7.63	7.68
浄化費	1.48	1.73	1.65	1.56	1.85	2.05	2.07	2.22
動力費	6.76	6.52	6.45	6.63	7.10	6.71	6.66	6.99
施設管理費	3.24	3.24	3.28	3.28	3.92	3.99	3.40	3.61
委託費	0.72	0.55	0.47	0.61	0.74	0.74	1.00	0.97
水源管理費	1.65	1.69	1.72	1.70	1.72	1.65	1.43	1.12
減価償却費	28.01	27.95	28.34	28.73	28.76	28.95	29.40	28.88
支払利息	21.59	20.38	18.98	17.66	15.36	13.76	12.51	10.20
その他(物件費・諸費等)	1.20	1.22	1.48	1.06	1.12	1.43	1.56	1.25
給水原価	73.54	71.20	70.29	69.14	68.24	66.92	65.66	62.92



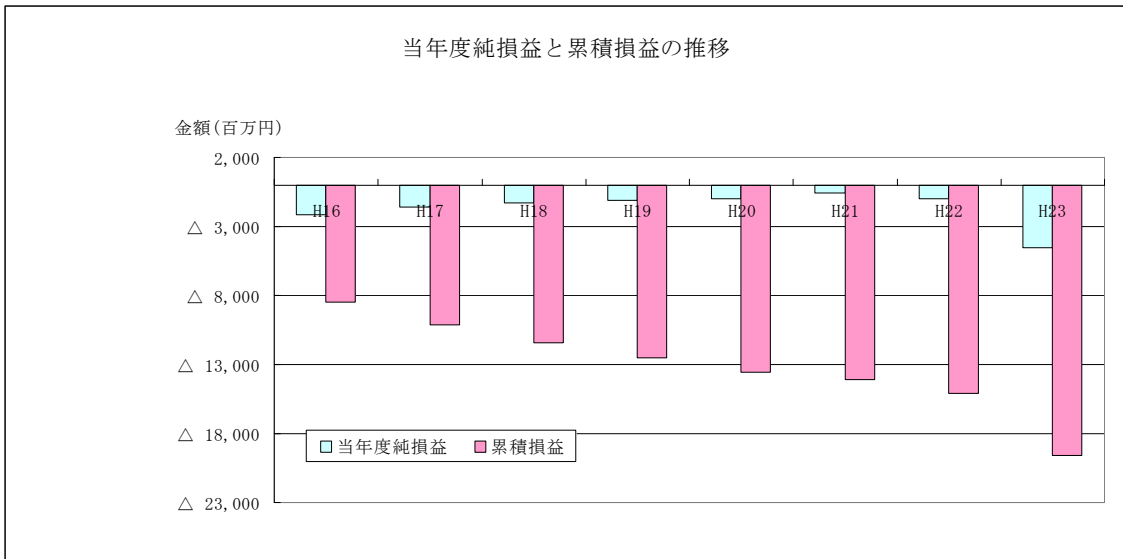
◆純損益と累積損益の状況

- 当年度純損益は4,502,830千円の赤字となり、赤字額は前年度に比べて3,527,452千円増加しました。
- 分賦割合（料金単価）を平成13年4月の改定以来据え置いてきましたが、第5期拡張事業で整備した施設の稼働に伴い減価償却費、支払利息が増加し、毎年度純損失を計上しています。
- 当年度は水源開発事業からの撤退による特別損失の計上により損益は大幅に悪化しました。
[財政計画比△3,202,940千円、予算比+511,123千円]

○損益の推移 (H16～)

(単位 千円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
当年度経常損益	△ 2,164,641	△ 1,597,645	△ 1,406,404	△ 1,134,060	△ 1,014,081	△ 770,990	△ 503,429	189,102
当年度純損益	△ 2,164,560	△ 1,597,645	△ 1,275,608	△ 1,135,570	△ 1,005,865	△ 568,337	△ 975,378	△ 4,502,830
累積損益	△ 8,514,673	△ 10,112,318	△ 11,387,927	△ 12,523,497	△ 13,529,362	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 19,575,907



◆資本的収支・資金収支の状況

- 資本的収入は5,948,165千円で、前年度に比べて1,565,151千円減少しました。起債・出資・国庫補助対象事業の縮小により、その財源収入もそれぞれ減少しました。
- 資本的支出は13,796,597千円で、前年度に比べて1,824,522千円減少しました。管路更新や設備取替といった建設改良費や企業債償還金等が減少しました。
- 資本的収支は7,848,432千円の不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では959,720千円の資金剰余となり、当年度末の資金残額は4,762,020千円となりました。

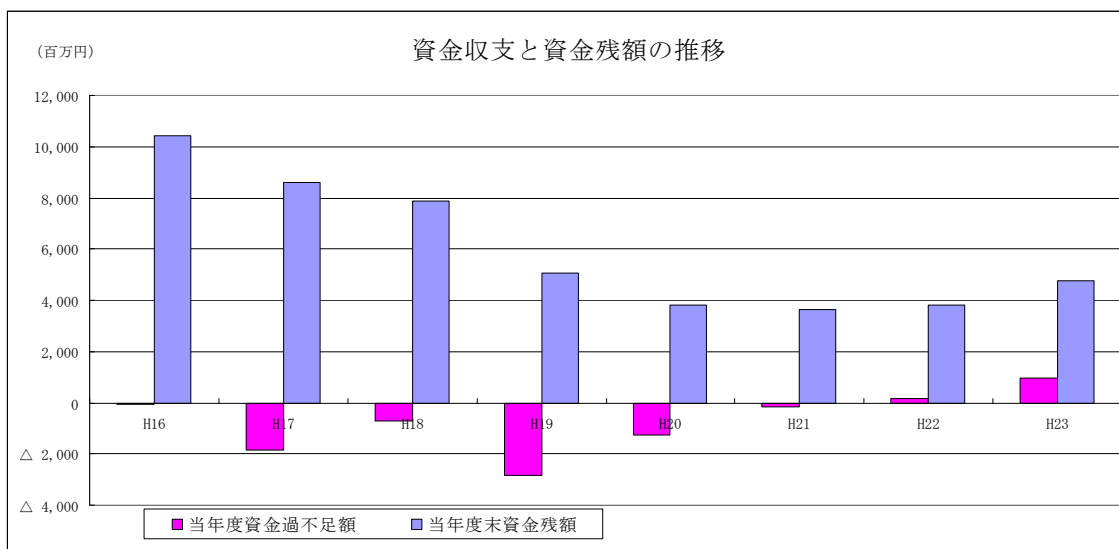
[財政計画比+2,264,808千円、予算比+329,326千円]

○資金収支と資金残額の推移 (H16～)

(単位 千円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
前年度末資金残額	10,507,523	10,442,589	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300
当年度資金過不足額	△ 64,934	△ 1,833,909	△ 719,372	△ 2,818,027	△ 1,259,002	△ 176,086	166,107	959,720
当年度末資金残額	10,442,589	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020

※ 当年度末資金残額には、長期運用資金額(999,700千円)を含まず。(平成17年度～19年度)



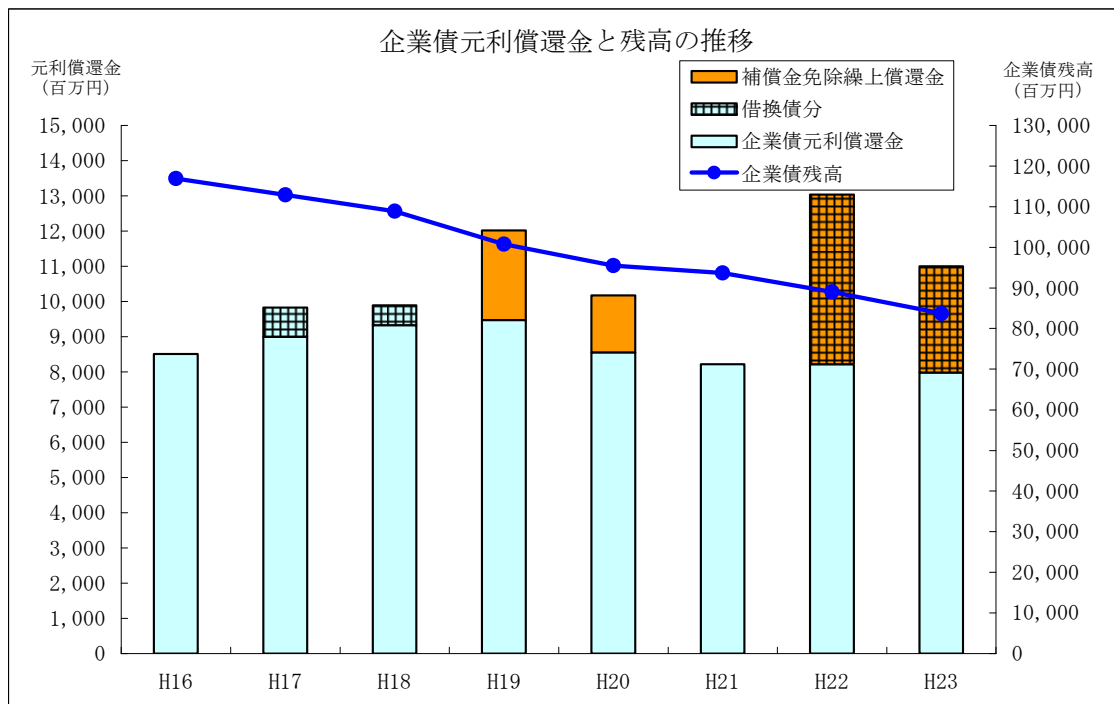
◆企業債の状況（償還額・残高の推移）

- 企業債元利償還金は11,000,872千円で、前年度に比べて2,033,573千円減少しました。
- 公的資金補償金免除繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。なお、保有資金の状況を勘案し、繰上償還の財源として借換債を発行しました。
- 当年度末の企業債残高は83,754,716千円で、前年度に比べて5,290,677千円減少し、平成16年度の72%の水準まで低下しました。

○企業債元利償還額・残高の推移（H16～）

（単位 百万円）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
企業債元利償還金	8,511	9,826	9,895	12,019	10,177	8,212	13,034	11,001
年度末残高	116,939	112,934	108,888	100,812	95,529	93,708	89,045	83,755



（注）元利償還金には、借換債分（H17：824百万円、H18：572百万円）及び公的資金補償金免除繰上償還（H19：2,545百万円、H20：1,622百万円、H22：4,812百万円※、H23：3,021百万円※）を含む。

※財源として借換債（H22：4,804百万円、H23：3,018百万円）を発行した。

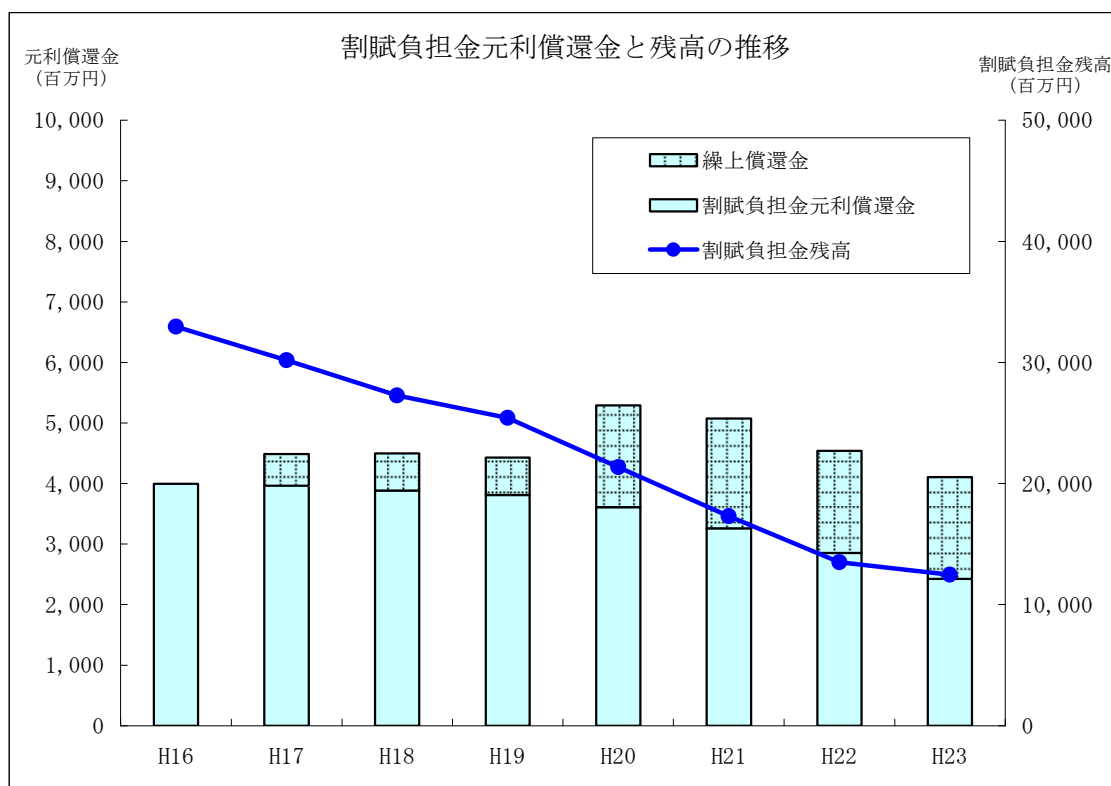
◆割賦負担金の状況（償還額・残高の推移）

- 割賦負担元利償還金は3,996,555千円で、前年度に比べて539,835千円減少しました。
- 琵琶湖開発事業割賦負担金の繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。
- 新たに丹生ダム建設事業の割賦負担金が増加したものの、当年度末の割賦負担金残高は12,481,276千円で、前年度に比べて1,045,117千円減少し、平成16年度の38%の水準まで低下しました。

○割賦負担元利償還額・残高の推移（H16～）

（単位 百万円）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
割賦負担元利償還金	3,994	4,487	4,501	4,429	5,291	5,072	4,536	4,107
琵琶湖開発事業	3,340	3,832	3,845	3,750	4,611	4,391	3,854	3,373
日吉ダム建設事業	654	655	656	679	680	681	682	682
丹生ダム建設事業								52
年度末残高（税込み）	32,952	30,198	27,272	25,429	21,368	17,292	13,526	12,481
琵琶湖開発事業	25,128	22,730	20,174	17,560	13,901	10,242	6,911	3,869
日吉ダム建設事業	7,824	7,468	7,098	7,869	7,467	7,050	6,615	6,162
丹生ダム建設事業								2,450



（注）割賦負担元利償還金には、琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還金を含む。

（H17：525百万円、H18：618百万円、H19：618百万円、H20：1,684百万円、H21：1,813百万円、H22：1,684百万円、H23：1,684百万円）

IV. 財政計画・予算・決算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H23				
		財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 水道事業収益		18,375,628	18,494,170	18,467,918	92,290	△ 26,252
1. 営業収益		17,909,105	17,937,179	17,924,053	14,948	△ 13,126
1. 分賦金		17,906,086	17,906,087	17,906,089	3	2
2. 受託工事収益		0	21,246	9,185	9,185	△ 12,061
3. その他の営業収益		3,019	9,846	8,779	5,760	△ 1,067
2. 営業外収益		466,522	470,318	457,180	△ 9,342	△ 13,138
1. 受取利息		11,931	4,008	3,404	△ 8,527	△ 604
2. 補助金		308,725	308,986	298,276	△ 10,449	△ 10,710
3. 雑収益		145,866	157,324	155,500	9,634	△ 1,824
3. 特別利益		1	86,673	86,685	86,684	12
1. 水道事業費用		19,675,518	23,508,123	22,970,748	3,295,230	△ 537,375
1. 営業費用		16,262,793	15,817,942	15,241,573	△ 1,021,220	△ 576,369
1. 職員給与費		2,281,689	2,232,134	2,219,575	△ 62,114	△ 12,559
2. 浄化費		564,545	706,842	640,804	76,259	△ 66,038
3. 動力費		2,011,200	2,063,716	2,021,068	9,868	△ 42,648
4. 施設管理費		1,444,838	1,037,120	1,044,630	△ 400,208	7,510
5. 委託費		245,480	300,149	278,989	33,509	△ 21,160
6. 受託工事費		0	21,246	9,185	9,185	△ 12,061
7. 物件費		98,286	95,637	89,131	△ 9,155	△ 6,506
8. 諸費		204,957	223,451	197,737	△ 7,220	△ 25,714
9. 水源管理負担金		511,640	366,899	322,462	△ 189,178	△ 44,437
10. 減価償却費		8,782,268	8,689,059	8,347,568	△ 434,700	△ 341,491
11. 資産減耗費		117,890	81,689	70,422	△ 47,468	△ 11,267
2. 営業外費用		3,407,722	2,952,317	2,950,558	△ 457,164	△ 1,759
1. 企業債利息		2,836,234	2,337,202	2,337,195	△ 499,039	△ 7
2. 割賦負担金利息		565,710	611,807	611,806	46,096	△ 1
3. 借入金利息		0	1	0	0	△ 1
4. 雑支出		5,778	3,307	1,557	△ 4,221	△ 1,750
3. 特別損失		3	4,732,864	4,778,617	4,778,614	45,753
4. 予備費		5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 1,299,890	△ 5,013,953	△ 4,502,830	△ 3,202,940	511,123

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 15,850,654	△ 15,073,077	△ 15,073,077	777,577	0
当年度純利益 又は純損失(△)	△ 1,299,890	△ 5,013,953	△ 4,502,830	△ 3,202,940	511,123
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 17,150,544	△ 20,087,030	△ 19,575,907	△ 2,425,363	511,123

資本的收入及び支出（税込み）

（単位 千円）

年度 収支区分	H23				
	財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 資本的收入	2,870,743	7,266,411	5,948,165	3,077,422	△ 1,318,246
1. 企業債	1,282,000	4,237,000	3,373,000	2,091,000	△ 864,000
2. 出資金	1,585,040	1,585,040	1,585,040	0	0
3. 国庫補助金	0	130,500	72,379	72,379	△ 58,121
4. 固定資産売却代金	1	3,868	3,868	3,867	0
5. 工事負担金	0	396,668	0	0	△ 396,668
6. 基金収入	3,700	3,500	3,334	△ 366	△ 166
7. 長期貸付金返還金	1	0	0	△ 1	0
8. その他資本収入	1	4,600	5,309	5,308	709
9. 水利還付金	0	905,235	905,235	905,235	0
1. 資本的支出	11,331,799	15,217,174	13,796,597	2,464,798	△ 1,420,577
1. 水道改良費（起債・負担金）	1,378,306	1,884,290	574,981	△ 803,325	△ 1,309,309
水道改良費（自己資金）	917,945	555,889	446,195	△ 471,750	△ 109,694
2. 水道拡張費	0	0	0	0	0
3. 水利負担金	3,517,187	3,494,913	3,494,912	△ 22,275	△ 1
4. 投資	3,700	3,500	3,334	△ 366	△ 166
5. 企業債償還金	5,514,661	8,665,084	8,663,677	3,149,016	△ 1,407
6. 国庫補助金返還金	0	311,783	311,782	311,782	△ 1
7. 出資金返還金	0	301,715	301,715	301,715	0
資本的収支不足額(△)	△ 8,461,056	△ 7,950,763	△ 7,848,432	612,624	102,331
補てん財源	8,461,056	7,950,763	7,848,432	△ 612,624	△ 102,331
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	213,046	182,536	109,676	△ 103,370	△ 72,860
損益勘定留保資金等	8,248,010	7,768,227	7,738,756	△ 509,254	△ 29,471
前年度末資金残額	3,144,951	3,802,300	3,802,300	657,349	0
当年度資金過不足額(△)	△ 647,739	630,394	959,720	1,607,459	329,326
当年度末資金残額	2,497,212	4,432,694	4,762,020	2,264,808	329,326

V. 対前年度決算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H23		
		前年度決算額	決算額	当年度－前年度
	①	②	②－①	
1. 水道事業収益		18,582,025	18,467,918	△ 114,107
1. 営業収益		17,888,203	17,924,053	35,850
1. 分賦金		17,857,165	17,906,089	48,924
2. 受託工事収益		27,323	9,185	△ 18,138
3. その他の営業収益		3,715	8,779	5,064
2. 営業外収益		558,780	457,180	△ 101,600
1. 受取利息		4,429	3,404	△ 1,025
2. 補助金		395,822	298,276	△ 97,546
3. 雑収益		158,529	155,500	△ 3,029
3. 特別利益		135,042	86,685	△ 48,357
1. 水道事業費用		19,557,403	22,970,748	3,413,345
1. 営業費用		15,332,756	15,241,573	△ 91,183
1. 職員給与費		2,205,398	2,219,575	14,177
2. 浄化費		597,727	640,804	43,077
3. 動力費		1,924,372	2,021,068	96,696
4. 施設管理費		981,303	1,044,630	63,327
5. 委託費		289,293	278,989	△ 10,304
6. 受託工事費		27,323	9,185	△ 18,138
7. 物件費		87,341	89,131	1,790
8. 諸費		208,286	197,737	△ 10,549
9. 水源管理負担金		412,512	322,462	△ 90,050
10. 減価償却費		8,496,105	8,347,568	△ 148,537
11. 資産減耗費		103,096	70,422	△ 32,674
2. 営業外費用		3,617,656	2,950,558	△ 667,098
1. 企業債利息		2,844,527	2,337,195	△ 507,332
2. 割賦負担金利息		770,131	611,806	△ 158,325
3. 借入金利息		0	0	0
4. 雑支出		2,998	1,557	△ 1,441
3. 特別損失		606,991	4,778,617	4,171,626
4. 予備費		0	0	0
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 975,378	△ 4,502,830	△ 3,527,452

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 975,378
当年度純利益 又は純損失(△)	△ 975,378	△ 4,502,830	△ 3,527,452
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 15,073,077	△ 19,575,907	△ 4,502,830

資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H23		
	前年度決算額	決算額	当年度－前年度	
	①	②	②－①	
1. 資本的収入	7,513,316	5,948,165	△ 1,565,151	
1. 企業債	5,527,000	3,373,000	△ 2,154,000	
2. 出資金	1,660,611	1,585,040	△ 75,571	
3. 国庫補助金	211,638	72,379	△ 139,259	
4. 固定資産売却代金	0	3,868	3,868	
5. 工事負担金	0	0	0	
6. 基金収入	3,857	3,334	△ 523	
7. 長期貸付金返還金	110,210	0	△ 110,210	
8. その他資本収入	0	5,309	5,309	
9. 水利還付金	0	905,235	905,235	
1. 資本的支出	15,621,119	13,796,597	△ 1,824,522	
1. 水道改良費（起債・負担金）	764,152	574,981	△ 189,171	
水道改良費（自己資金）	475,857	446,195	△ 29,662	
2. 水道拡張費	421,076	0	△ 421,076	
3. 水利負担金	3,766,259	3,494,912	△ 271,347	
4. 投資	3,857	3,334	△ 523	
5. 企業債償還金	10,189,918	8,663,677	△ 1,526,241	
6. 国庫補助金返還金	0	311,782	311,782	
7. 出資金返還金	0	301,715	301,715	
資本的収支不足額(△)	△ 8,107,803	△ 7,848,432	259,371	
補てん財源	8,107,803	7,848,432	△ 259,371	
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	190,872	109,676	△ 81,196	
損益勘定留保資金等	7,916,931	7,738,756	△ 178,175	
前年度末資金残額	3,636,193	3,802,300	166,107	
当年度資金過不足額(△)	166,107	959,720	793,613	
当年度末資金残額	3,802,300	4,762,020	959,720	